

点字と墨字を同時印刷できる製品を保有 健常者と障害者をつなぎ福祉貢献が大きい

福祉機器の製造、販売とコンピューターソフトの受託開発を中心とする事業を展開している。福祉分野では点字プリンター、点字ディスプレイのハードと関連する点字用ソフトの開発を行い、製品は東京都ベンチャー技術大賞や中小企業製品賞を受けるなど高い技術力が認められている。ソフト開発では地図システム、水力ダムの管理システムなど先進的なソフト開発を行っている。

- | | | | |
|----------|---|--------|---------|
| ● 所在地 | 東京都千代田区麹町1-8-1
半蔵門MKビル1階 | ● 設立 | 1986年 |
| ● 電話/FAX | 03-3264-0800/03-3264-0880 | ● 資本金 | 4,260万円 |
| ● URL | http://www.nippontelesoft.com/company.html | ● 従業員数 | 12人 |
| ● 代表者 | 代表取締役 金子 秀明 | | |



国際機関にも認められたソフト開発力による幅広い海外展開

アメリカ、ドイツで毎年開催される「視覚障害者支援機器」の展示会に10年以上連続して参加し、点字プリンターなどの商品の紹介とともに販売網の構築を続けてきた。現在、欧米、アジア等に約30の代理店を持ち、各国対応の点字ソフト等を開発し、製品の向上を図っている。世界100の言語・地域語に対応し、点字・墨字の同時印刷点字プリンターは世界唯一の商品で高い人気がある。2017年9月には世界保健機構WHO指定の福祉機器開発会社にも選定され、今後世界規模で点字分野における技術開発を促進していく。



筑波技術大学でのICT見学

メイドイン熊本を世界にアピールする地域連携

点字プリンターを製造している熊本工場では、約300点に上る関連部材のうち、一部の電子部品などを除き価格にして約7割を地元から購入している。国立熊本高等専門学校、中小機構九州の支援を受け、製品の性能向上に取り組んでいる。小ロットの生産のため非効率な部材の購入であるが、福祉機器への協力ということで、地元企業の協力により、部材の供給などもスムーズに実施できている。熊本地震により損傷を受けた際には、最終過程にあったセルビア向け製品をボランティアの協力や、輸送も業者の特別な配慮により福岡で受け入れられ、出荷できた。



点字プリンター

ベトナムでの経験を活かした新機能の開発と製品化

現在ベトナムで実施中のJICA普及・実証事業を通じ、ベトナムを含めた途上国においては点字専用用紙が入手し難く、これら用紙の確保にもコストがかかることが判明した。この経験から、国立熊本高等専門学校や中小機構九州の支援を受け、点字プリンターの単票用紙自動紙送り機能(ADF)を製品化した。本機能は単票用紙が使用できるため、開発途上国などの点字専用用紙の入手が困難な国においても導入しやすく、コストの低廉化も可能な仕様となっている。



DOG MULTI ADF(ドッグ マルチ ADF)